

平成29年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	大河津分水路改修事業起工式	事業経緯	新規	実施体制	協力	担当所属	長岡支所
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業		事業区分	キャンペーン、〇〇月間	

1. 事業目的

信濃川水系全体の治水安全度を高めるため、大河津分水路ではこれまで洗堰及び可動堰の改築を実施してきた。そして、平成27年度、大河津分水路の抜本的な改修に着手。事業期間18年、総事業費1,200億円の大規模事業となる。改修計画としては、概ね13年間で第二床固の改築及び床固下流区間の山地掘削を完成させることとしており、これにより平成23年新潟・福島豪雨と同程度の洪水を安全に流すことができるようになる。本事業の起工式を通じ、事業に対する一層の理解と協力を得るとともに、あらためて地域の安全・安心に対する認識の深化を図る。

2. 事業実施体制

主催：国土交通省北陸地方整備局、大河津分水改修促進期成同盟会
協力：(一社)北陸地域づくり協会

3. 事業実施概要

日時：平成30年3月17日(土) 10:00～11:40
場所：長岡市寺泊文化センター「はまなす」
プログラム：
式辞：北陸地方整備局長
挨拶：国土交通省水管理・国土保全局長
大河津分水改修促進期成同盟会会長(新潟市長)
祝辞：新潟県知事、地元選出国會議員
地元挨拶：長岡市長、燕市長
事業計画説明：国土交通省信濃川河川事務所長
小学生からのメッセージ：長岡市立寺泊小学校、燕市立分水小学校
鍬入れ
アトラクション：地元芸能
参加者：約300人

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

大河津分水路の改修は、信濃川水系の治水安全度を向上させる根幹を成し、地域が永らく待ち望み、地域の安全・安心をより一層確かなものにする大事業である。この歴史的事業を本格的に開始するにあたり、越後平野を水禍から守る大河津分水路の役割への認識をあらためて深めてもらうとともに、河川整備やそれを支える土木技術への関心を高め、地域における防災・減災の意識高揚の契機となった。



鍬入れ



小学生からのメッセージ



アトラクション

- ・「塩たき節」(長岡市)
- ・「野積酒つくり唄」(長岡市)
- ・分水太鼓(燕市)

